

2020年2月7日

各 位

会社名 株式会社 アイスタイル  
代表者名 代表取締役社長 吉松 徹郎  
(コード番号：3660 東証第一部)  
問合せ先 取締役 CFO 菅原 敬  
(TEL. 03-5575-1260)

連結決算における特別損失の計上および個別決算における営業外費用、特別損失の計上、  
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月期第2四半期連結会計期間において、下記のとおり営業外費用および特別損失を計上するとともに、2019年8月7日に公表した2020年6月期の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結決算における特別損失の計上および個別決算における営業外費用、特別損失の計上について  
(連結)

当社の連結子会社でありマレーシアで化粧品のECサイトを運営している Hermo Creative (M) Sdn. Bhd. および米国で化粧品クチコミサイトを運営している MUA Inc. の業績が、株式取得時に想定した計画を下回って推移していることから、両社に対する評価を見直し、株式取得時に発生したのれんの残額や固定資産を減損し、減損損失2,364百万円を特別損失として計上いたしました。また、デモの影響等により、香港の一部店舗の短期的な収益改善が困難であるほか、タイの店舗においても景気減速の影響等により、業績が想定を下回っております。そのため、これらの店舗の減損を実施し、特別損失として595百万円を計上いたしました。

また、当社は、2019年12月16日付「台湾における店舗運営終了に関するお知らせ」のとおり、台湾店舗の閉店を決定しております。それに伴い店舗閉鎖損失30百万円を特別損失として計上いたしました。

その他、当社が保有する一部の投資有価証券の実質価額が、取得価額に比べて著しく下落したため、投資有価証券評価損30百万円を特別損失として計上いたしました。

(個別)

上記に関連して、関係会社に対する貸付金の貸倒引当処理を行い、関係会社貸倒引当金繰入額728百万円を営業外費用として計上いたしました。また、連結子会社の一部株式に係る減損処理を行い、関係会社株式評価損4,462百万円を特別損失として計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額および当該評価損は連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

## 2. 当期の連結業績予想数値の修正（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 39,000	百万円 △1,240	百万円 △1,390	百万円 △1,720	円 銭 △26.51
今回修正予想（B）	34,000	△1,480	△1,580	△4,480	△68.67
増減額（B－A）	△5,000	△240	△190	△2,760	
増減率（％）	△12.8%	-	-	-	
（参考）前期連結業績 （2019年6月期）	32,193	476	380	△519	△8.05

### 3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、ECイベントの売上目標未達や、中国越境EC・卸売の不振、香港の店舗がデモの影響を受けたことなどにより、売上高や営業利益等が当初の業績予想から乖離しております。

また、「1. 連結決算における特別損失の計上および個別決算における営業外費用、特別損失の計上について」に記載の通り、当第2四半期連結会計期間において特別損失を計上いたしました。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益が当初の業績予想から乖離しております。

このような状況を踏まえ、2020年6月期の通期連結業績予想を表記のとおり修正いたします。

※上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上